

気ままに、自由に、ダーティに。

hey, baby、身体で気持ちをつたえたい。

77年(サタデー・ナイト・フィーバー)、83年(フラッシュ・ダンス)、84年(フットルース)、いまダンス・シネマに新しい興奮。



1963年 夏。

ビートルズがアメリカに上陸した。  
 ケネディが14弾に倒れた。  
 だが一つの恋が芽ばえた。  
 なつかしのオールディーズ全14曲

BE MY BABY (ロケッツ)  
 BIG GIRLS DON'T CRY (フォー・シーズンズ)  
 DO YOU LOVE ME (コントコアーズ)  
 LOVE MAN (オーティス・レディング)  
 STAY (モーリス・ウィリアムス&サ・ソティアックス)  
 WIPE OUT (サファリズ)  
 HEY BABY (ブルース・チャンネル)  
 SOME KIND OF WONDERFUL (ドリフターズ)  
 THESE ARMS OF MINE (オーティス・レディング)  
 CRY TO ME (バロキン・パーク)  
 WILL YOU LOVE ME TOMORROW (シレルズ)  
 LOVE IS STRANGE (ヒッキー&シルヴィア)  
 YOU DON'T OWN ME (ロー・モンキーズ)  
 IN THE STILL OF THE NIGHT (ファイブ・サテンス)

# ダーティダンス



## DIRTY DANCING

VESTRON PICTURES 製作

リンダ・ゴットリーブ・プロダクション DIRTY DANCING

パトリック・スウェイズ、フェニクサー・グレイ、ジェリー・オーバック、シンシア・ローズ

製作総指揮 ミッチェル・カナルド、ステイヴン・ルーサー

振付 クニー・オルテガ 音楽監督 シミー・エントー 音楽 ソートモリス(サウンドトラック)

共同プロデューサー エレノア・バーグスタイン、アンソニー・プロテューサー ロー・パークラック 編集 ビーター・C・フランク

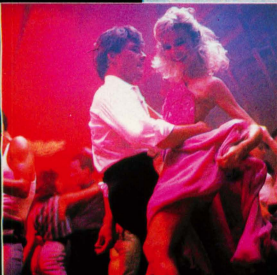
美術 ヴェイット・チャップマン、撮影 ジェフ・ジャコブ 脚本 エレノア・バーグスタイン

製作 リンダ・ゴットリーブ 監督 エミール・アルドリーノ

配給 ヴェストロン映画

DOLBY STEREO

© Copyright by Vestron Pictures. All Rights Reserved.



# 気ままに、自由に、ダーティーに。

## 新たなダンス映画上陸!!

数年前から『サタデー・ナイト・フィーバー』(77)『フラッシュ・ダンス』(83)『フットルース』(84)など数多くのダンス映画が若者達の心をつかんできた。その熱くたぎるビートのきいた音楽と、思わず体を揺すってしまうような見事なダンス・シーンが、若者達をひきつけた原因といえるだろう。

そして今年、新たなダンス映画が旋風を巻き起こすためにやってくる。それが『ダーティ・ダンシング』だ!



Vestron Pictures 製作  
1987年/カラー/アメリカ映画  
上映時間:1時間40分  
配給:ベストロン映画



## STAFF & CAST

主演のベイビーに『フェリスはある朝突然に』(86)のジュニア・グレイ。思春期の少女から大人の女へと変化してゆく微妙な心情を見事に演じ切っている。相手役のジョニーには『アウトサイダー』(83)『栄光のエンブレム』(86)のパトリック・スウェイズ。ダンサーとしての腕を買われての出演だけあって素晴らしいダンスを披露してくれる。

監督は、TV界出身のエミール・アルドリノ。劇場用映画は初めてだが、ニューヨーク・シティ・バレエ団のジャック・ダンボワーズを描いた『He Makes Me Feel Like Dancing』で83年アカデミー・ドキュメンタリー賞を受賞したという実力派だ。



## 米「バラエティ」誌堂々第二位

今年8月21日全米で公開された『ダーティ・ダンシング』。3週間で2,450万ドルを稼ぎ出し、『バラエティ』初登場第3位に、2週目に至っては第2位にランキングされた!! 今なお全米約1,000館で上映中で大ヒットしている。

## 女の子たちの“アメリカン・グラフィティ”があったってイイじゃない!

'63年、アメリカ人は新しい時代の夜明けを感じ始めていた。この年、マーキュリー計画の宇宙飛行士たちは宇宙へ飛び出し、ケネディ大統領は暗殺され、ビートルズがアメリカのテレビに初登場するといった大変な時代だった。『ダーティ...』は、そんな時代の夏を舞台に、オールディーズをふんだんに盛り込んで、思春期の少女の微妙な心の変化と共に、当時のアメリカの姿を描いた物語だ。そうしたことからもまさにこの映画は、女の子の目から見た“アメリカン・グラフィティ”といっているんじゃないだろうか。

# ダーティ・ダンシング

〈キャスト〉パトリック・スウェイズ/ジュニア・グレイ/ジェリー・オーバック/シンシア・ローズ

## 物語

63年夏、両親と共に避暑地にやってきた17歳の少女ベイビー。そこではカッコいいダンス・インストラクター、ジョニーが働いていた。上流階級のお嬢様と、労働者階級出身のダンサー、ふたりはやがて愛し合うようになる。そしてベイビーは、情熱を傾けるダンスと初めての恋を知ったことから、彼女自身を少女ではなく女へと成熟させていくのだった……。

## サントラ盤 “ゴールド・ディスク” 獲得!!

作品中では、“ビー・マイ・ベイビー”をはじめ昔ながらの曲が14曲も使われている。それだけでもしびれさせてくれるのに、6曲の新しく作った曲がまた最高!! 現代のフィリングで作った曲を60年代風にアレンジしたもので聞きごたえたっぷり。この新曲を中心に構成されたサントラ盤『ダーティ・ダンシング』は、発売3週目にして50万枚を売り見事“ゴールド・ディスク”を獲得した。

